



# 桃一通信

No. 6 6 8

桃井第一小学校  
(3390)3178(代)

令和4年 10月号



## 桃一小 14 年の取り組み「からだ力」

校長 高橋 浩平

10月に入りました。8日(土)のモモリンピックに向けて子供たちは元気に練習しています。今年度は昨年度までの学年ごとの開催から、2学年ごとの開催にしました。少しずつ、以前の運動会(モモリンピック)に近付けながらやっていきたいと思います。保護者の皆様、応援のほどよろしくお願いいたします。

さて、桃一小が「からだ力」を進めて14年目になります。職員の入れ替わりもあり、これまでの実践を引き継ぎ、さらに発展させるために、昨年度から職員の学習を目的とした公開の研修会を実施しています。今年の2月の公開研修会では国士舘大学の細越淳二先生(本校CS委員長)から『からだ力』の意義についてご講演いただきました。その中で、「コロナ禍になり、急激に体力調査の結果が下がっている」というお話がありました。外に出られず屋内で過ごすことが増え、運動機会が減少し、体を動かす経験も不足、そんな状況の中で、体力調査の結果が全体的に低いのもうなずけます。

「からだ力」とは「いわゆる運動能力だけではなく、運動の日常化や望ましい生活習慣・食生活について考え行動する、総合的な力」のことです。学校経営の柱の一つにもなっています。コロナ禍の中だからこそ、改めて「からだ力」を大切にする取り組みが求められていると感じています。今年度も運動機会の確保のために仲よしタイムの実施、学校支援本部さんによる早朝スポーツ、放課後スポーツ教室を実施してきました。モモリンピックでも体を動かす楽しさ、みんなと気持ちを合わせて行う表現の楽しさなどを味わってくれるといいなと思っています。

また食育や生活習慣の取り組みも大事なことです。規則正しい生活、栄養バランスのとれた食事、こうしたことは家庭との連携なしでは成り立ちません。一方で、家庭でもなかなかそうしたことにまで気を配る余裕がない、という話もよく聞きます。子供たちもそうですが、「しなければならない」と思ってしまうと、それがプレッシャーになり、出来ないときの失望感が大きくなってしまいます。「〇〇しなければならない」と考えるのではなく「〇〇できるとよいよね」くらいの感じでやっていくのが一番いいように思います。

前述した講演会では細越先生は、次のようにもお話しされていました。「学校体育が目指す方向性は(幼稚園)小学校から高等学校までの運動生活を通して、豊かなスポーツライフの素地を育てることである。その際、運動・スポーツを『する』だけではなく、『見る』『支える』『知る』など、多面的な関わりをもつことから、生涯スポーツの素地を育てていきたい。」その通りだと思います。

人生100年時代と言われる今、「生涯スポーツ」「豊かなスポーツライフ」ということは大切です。違う見方をすれば、小学校での教育活動は小学校の中で完結するものではなく、その子の将来、これからの未来につながるものでなければなりません。長いスパンで考えたときに、学習指導要領でも指摘されるように、「体を動かす楽しさや心地よさ」を感じることによって「運動好き」になっていくことが大事なのではないでしょうか。その意味からも「からだ力」がついているとよいよね」と思っています。今月もどうぞよろしくお願いいたします。



# 10月の生活目標『進んで仕事をしよう』

今月は、自分から進んで仕事をすることを目標に取り組みます。自分の与えられた仕事に責任をもって、最後までやり遂げることが大切です。その上で、他の仕事も率先して手伝おうとする心を大切にしていきたいと思います。そのためには、様々な人の立場で物事を捉える力や、周囲の動きに気付く力が必要となります。

各学級では、清掃や給食の準備・後片付け、日直、係活動など、学級のみんなが楽しく気持ちよく過ごせるように仕事を分担しています。自分の役割をきちんと果たし、友達と協力して最後までやり遂げることができるよう指導しています。

小さなことでも自分が役に立っているという経験の積み重ねが、自信につながります。誰かの役に立つことに喜びを感じられる桃一の子を育てていきたいと思います。

## セーフティ教室について

### 1・2年生「自分の身は自分で守る」(連れ去り事故防止・交通事故防止等)

荻窪警察署の方を講師にお呼びして、「自分の身は自分で守る(連れ去り事故防止・交通事故防止等)」をテーマに学びました。映像を通して、身の回りには、危険が潜んでいることを学び、合い言葉である「いかのおすし」を通して、自分の身を守る行動について確認しました。

### 3・4年生「勇気をもって」(万引き防止)

健全育成音楽劇のマミーシンガーの方を講師にお呼びして、「勇気をもって」をテーマに学びました。音楽劇を通して、「ダメなものはダメ」という強い心をもつことが大切と学びました。劇中で「子供だからって、万引きは許されない。」「万引きすることでお店の人だけでなく、家族まで悲しむんだよ。」という台詞を真剣な表情で子供たちは聞いていました。振り返りでは、「もっと万引きについて学びたい。」「自分も相手もしない、させないようにする。」と意識を高めていました。

### 5・6年生 情報モラル・リテラシー

講師をお呼びして、「文字を使ったコミュニケーション」「オンラインゲームとの付き合い方」「メディアバランスを考えよう」の3つのテーマで学びました。「メディアを扱う時間と家族との時間、勉強の時間などのバランスを考えてスマホを使いたい。」「メディアを使う時間を考えるだけではなく、困ったらすぐに相談する。」など、インターネットとの付き合い方について真剣に考えていました。学習で用いたワークシートを家庭に持ち帰り、情報モラルやリテラシーについてご家庭で話し合ってくださいました。子供たちへ感想や意見を伝えていただいたことで、子供たちの理解が深まりました。





# 幼保小・小中連携について

幼保小・小中連携担当

杉並区では、小学1年生や中学1年生等でおこる課題に対し、研修会や協議会を実施し、幼保小・小中連携を推進しています。本校でも校区内の6園並びに、井荻中と四宮小と連携を深めています。

## (1) 幼保小連携について

定期的な研修会を通して、入学時の課題や幼稚園・保育園での取り組みなどについて話し合いました。また、お散歩の一環で、桃一小に入ってもらい、桃の井園や小校庭、体育の様子などを見てもらうこともありました。7月には4年生がプールから救出したヤゴをあげ交流を図りました。また今後は、1年生が学校案内を計画しています。

少しずつでも交流の時間をもち、桃一小を知ってもらう機会を増やしていきたいと思えます。

## (2) 小中連携について

3校合同インクルーシブプロジェクトを通して、井荻中、四宮小と連携を深めています。

取り組みの1つ目は、教科や生活指導などテーマごとに分かれて、お互いの様子を話し合いました。普段の様子や課題、指導内容を理解することで、学習面や生活面の指導の仕方を考える機会となっています。

2つ目は、授業を見合うことを進めています。桃一小では、7月に外国語活動（5年1組）を公開しました。今後も研究授業を参観し合い、相互理解を深めてまいります。



# 教育実習生が来ています

9月26日（月）から桃一小に教育実習生が来ています。松村ひかるさんと岡戸瑠香さんです。2人とも桃一小の卒業生です。5年5組で松村さんが3週間、6年4組で岡戸さんが4週間、実習を行います。

# 桃一小バンダナについて

1年生の時に配布される緑色の「桃一小バンダナ」は6年間使用します。校外学習の時など、桃一小の児童の目印となります。是非、大事に使用してください。万が一紛失した場合は、600円で購入していただくことになります。その際は、担任に連絡帳でお申し出ください。

